

第 59 回 鶏産肉能力経済検定成績

大西美弥・泉川康弘

The 59th results of a meat productive test for fowls.

Miya ONISHI, Yasuhiro IZUMIKAWA

県内における肉用種鶏の改良を促進するとともに、肉用コマーシャル鶏の能力向上を図るため香川県鶏産肉能力経済検定規則に基づき、県内の主な種鶏場、孵化場から申請のあった肉用鶏について産肉能力経済検定を実施した。

材料と方法

1) 検定鶏種及び出品者

区	品種	鶏種	出品者	住所
1	専用種	チャンキー	協和孵卵場 三谷 信夫	三豊市高瀬町佐股
2	〃	コッブ	〃 三好 保男	〃
3	銘柄鶏	M1 (スターファーム TG)	森 孵卵場 森 嘉澄	観音寺市大野原町
4	〃	M2 (今福)	〃 森 泰三	〃
5	銘柄鶏	M3 (スターM3)	〃 美藤 昇	〃
6	〃	はやま95	〃 岡田南海雄	〃

2) 種 卵

種卵は、検定鶏種毎に選定入卵し、孵化した雛は、鶏種毎に雄 30 羽、雌 30 羽の合計 60 羽を一区とした。

3) 検定期間と場所

期 日	場 所
平成 21 年 8 月 4 日 (火)	入 卵
同 年 8 月 26 日 (水)	孵化、検定開始
同 年 10 月 14 日 (水)	ブロイラー専用種 検定終了 (50 日間)
同 年 11 月 17 日 (火)	銘 柄 鶏 検定終了 (84 日間)

香川県畜産試験場

4) 飼育管理

(1) 飼育方法

餌付け～21日齢：電熱バタリー育雛機（雌雄混飼）

22日齢～終了日：平飼い飼育（飼育密度 3.3 m²当り 30 羽・雌雄別飼）

(2) 給与飼料と給与方法

飼料は、表 1 の市販配合飼料を不断給与し、給水は自動給水とした。

第 59 回 鶏産肉能力経済検定成績

表 1. 給与飼料及び成分

区 分	粗蛋白質	代謝エネルギー	形 状	給与日齢
ブロイラー 肥育前期用	22%以上	3100kcal 以上	クランブル	1～21 日齢
ブロイラー 肥育後期用	18%以上	3200kcal 以上	マッシュ	22～43 日齢 (専用種) 22～77 日齢 (銘柄鶏)
ブロイラー 肥育休業用	18%以上	3200kcal 以上	マッシュ	44～50 日齢 (専用種) 78～84 日齢 (銘柄鶏)

(3) 衛生管理

①マレック病ワクチン	孵化時生ワクチン (HVT+CVI 株)	頸部皮下注射
②鶏痘ワクチン	孵化時穿刺用ワクチン (#946 株)	穿刺
③ニューカッスル病ワクチン	孵化時生ワクチン (B1 株)	点眼
	20 日齢生ワクチン (B1 株)	飲水
④鶏伝染性気管支炎ワクチン	孵化時 生ワクチン (ON株)	点眼
	20 日齢生ワクチン (H120 株)	飲水
⑤伝染性ファブリキウス嚢病	14 日齢生ワクチン (MB-1・E 株)	飲水

成 績

1) 発育体重

・ブロイラー専用種の検定終了時(50 日齢)の発育体重の平均は、2,931g であった (表 2)。

雄雌全体の発育体重は、2 区が良く、2,972g であった。

雄における発育体重は、2 区が良く、3,178g であった。

雌における発育体重は、2 区が良く、2,766g であった。

・銘柄鶏の検定終了時(84 日齢)の発育体重の平均は、3,911g であった (表 3)。

雄雌全体の発育体重は、4 区が良く、4,348g であった。

雄における発育体重は、4 区が良く、4,818g であった。

雌における発育体重は、4 区が良く、3,878g であった。

表 2. ブロイラー専用種の発育体重

区分	性	餌付時	21 日齢	35 日齢	50 日齢
1区	♂	41.1	730	1,837	3,132
	♀	41.3	690	1,631	2,649
	平均	41.2	710	1,734	2,891
2区	♂	48.4	726	1,856	3,178
	♀	46.6	707	1,722	2,766
	平均	47.5	717	1,789	2,972
平均	♂	44.8	728	1,847	3,155
	♀	44.0	699	1,677	2,708
	平均	44.4	713	1,762	2,931

第 59 回 鶏産肉能力経済検定成績

表3. 銘柄鶏の発育体重

区分	性	餌付時	21日齢	35日齢	49日齢	63日齢	77日齢	84日齢
3区	♂	41.2	605	1,481	2,418	3,308	4,123	4,479
	♀	41.9	539	1,232	1,943	2,605	3,291	3,560
	平均	41.6	572	1,357	2,181	2,957	3,707	4,020
4区	♂	40.9	643	1,557	2,563	3,579	4,448	4,818
	♀	40.9	606	1,367	1,943	3,017	3,591	3,878
	平均	40.9	625	1,462	2,253	3,298	4,020	4,348
5区	♂	41.8	546	1,240	1,972	2,756	3,451	3,801
	♀	40.1	498	1,055	1,671	2,201	2,798	3,093
	平均	41.0	522	1,148	1,822	2,479	3,125	3,447
6区	♂	48.4	553	1,281	2,096	3,050	3,783	4,033
	♀	46.6	512	1,107	1,758	2,392	2,932	3,214
	平均	47.5	533	1,194	1,927	2,721	3,358	3,624
平均	♂	43.1	587	1,390	2,262	3,173	3,951	4,283
	♀	42.6	544	1,212	1,871	2,636	3,259	3,539
	平均	42.8	565	1,301	2,067	2,905	3,605	3,911

2) 飼料要求率

- ・ブロイラー専用種の検定終了時(50日齢)の飼料要求率の平均は1.56であった(表4)。雄雌全体の飼料要求率は1.55から1.58の範囲で、2区が最も良かった。雄の飼料要求率は、1.50から1.56の範囲で2区が最も良かった。雌の飼料要求率は、1.59から1.60の範囲で1区が最も良かった。
- ・銘柄鶏の検定終了時(84日齢)の飼料要求率の平均は2.21であった(表5)。雄雌全体の飼料要求率は2.09から2.33の範囲で、3区が最も良かった。雄の飼料要求率は、1.99から2.21の範囲で3区が最も良かった。雌の飼料要求率は、2.19から2.49の範囲で3区が最も良かった。

3) 育成率

- ・ブロイラー専用種の育成率の平均は、97.5%であった(表4)。雄雌全体の育成率は、96.7%から98.4%の範囲で、2区が最も良かった。雄の育成率は、93.3%から96.7%の範囲で2区が最も良かった。雌の育成率は、1区、2区ともに100.0%であった。
- ・銘柄鶏の育成率の平均は、96.7%であった(表5)。雄雌全体の育成率は、95.0%から100.0%の範囲で、5区が最も良かった。雄の育成率は、90.0%から100.0%の範囲で5区が最も良かった。雌の育成率は、93.3%から100.0%の範囲で5区と6区が最も良かった。

表4. ブロイラー専用種の飼料要求率と育成率

区分	性	飼料要求率		育成率	
		50日齢時	50日齢時	50日齢時	備考
1区	♂	1.56	93.3	45日齢	発育不良
	♀	1.59	100.0		
	平均	1.58	96.7		
2区	♂	1.50	96.7	50日齢	死亡(原因不明)
	♀	1.60	100.0		
	平均	1.55	98.4		
平均	♂	1.53	95.0		
	♀	1.60	100.0		
	平均	1.56	97.5		

第 59 回 鶏産肉能力経済検定成績

表5. 銘柄鶏の飼料要求率と育成率

区分	性	飼料要求率		育成率		備 考
		84日齢時	84日齢時	84日齢時	84日齢時	
3区	♂	1.99	96.6	28日齢	発育不良	
	♀	2.19	93.3	77日齢	発育不良、脚弱	
	平均	2.09	95.0			
4区	♂	2.00	96.7	63日齢	右脚外転	
	♀	2.23	96.7	77日齢	発育不良	
	平均	2.12	96.7			
5区	♂	2.16	100.0			
	♀	2.49	100.0			
	平均	2.33	100.0			
6区	♂	2.21	90.0	63日齢・77日齢	発育不良	
	♀	2.40	100.0			
	平均	2.31	95.0			
平均	♂	2.09	95.8			
	♀	2.33	97.5			
	平均	2.21	96.7			

4) プロダクションスコア

プロダクションスコア (PS) は、 $(PS = \{(出荷体重(kg) \times 育成率(\%)) / (出荷日齢 \times 飼料要求率)\} \times 100)$ で計算した。

- ・ブロイラー専用種の PS の平均は 368.7 であった。
区別の PS は、353.9 から 383.5 の範囲で 2 区が最も良かった。
- ・銘柄鶏の PS の平均は 201.8 であった。
区別の PS は、176.1 から 236.1 の範囲で 4 区が最も良かった。

表6. プロダクションスコア

区分	出荷体重 (k g)	出荷日齢 (日)	育成率(%)	飼料要求率	PS
1区	2.891	50	96.7	1.58	353.9
2区	2.972	50	100.0	1.55	383.5
ブロイラー 専用種平均	2.932	50	98.4	1.57	368.7
3区	4.020	84	95.0	2.09	217.5
4区	4.348	84	96.7	2.12	236.1
5区	3.447	84	100.0	2.33	176.1
6区	3.624	84	95.0	2.31	177.4
銘柄鶏平均	3.860	84	96.7	2.21	201.8

5) 経済性

- ・ブロイラー専用種では、1羽当りの収益指数は、80.8 から 92.1 で、平均収益指数は 86.5 であった。区別では、2 区が最もよく、92.1 であった。
- ・銘柄鶏では、1羽当りの収益指数は 0.4 から 93.9 で、平均収益指数は 50.5 であった。区別では、4 区が最もよく、93.9 であった。

第59回 鶏産肉能力経済検定成績

表7. 粗収益

区分	販売羽数 (羽)	販売重量 (g)	販売価格 (円)	飼料費 (円)	差引き (円)	収益指数
1区	58	167,166	22,735	17,884	4,851	80.8
2区	59	175,112	23,815	18,291	5,524	92.1
ブロイラー 専用種平均	58.5	171,139	23,275	18,088	5,187	86.5
3区	57	229,543	42,695	37,955	4,740	79.0
4区	58	252,184	46,906	41,272	5,634	93.9
5区	60	206,820	38,469	36,744	1,725	28.7
6区	57	205,311	38,188	38,163	25	0.4
銘柄鶏平均	58	223,465	41,564	38,534	3,031	50.5

注) 1. 収益指数：(販売価格－飼料費) ÷ 検定開始羽数

2. 販売価格 生体 1kg ブロイラー専用種 136 円 銘柄鶏 186 円

3. 飼料価格 前期用 72.25 円/kg、後期用 65.05 円/kg、休薬用 63.45 円/kg

4. 表内の販売価格、飼料費は消費税を含む。

6) と体調査

表8. ブロイラー専用種の正肉歩留 (50日齢時)

区分	性	正肉歩留 (%)				腹腔内脂肪率
		もも	むね	ささみ	計	
1区	♂	19.6	18.7	3.6	41.9	1.8
	♀	18.0	19.2	4.2	41.4	2.4
	平均	18.8	19.0	3.9	41.7	2.1
2区	♂	18.7	19.2	3.8	41.7	1.9
	♀	19.4	19.6	4.0	43.0	1.9
	平均	19.1	19.4	3.9	42.4	1.9
ブロイラー専 用種平均	♂	19.2	19.0	3.7	41.8	1.9
	♀	18.7	19.4	4.1	42.2	2.2
	平均	18.9	19.2	3.9	42.0	2.0

表9. 銘柄鶏の正肉歩留 (85日齢時)

区分	性	正肉歩留 (%)				腹腔内脂肪率
		もも	むね	ささみ	計	
3区	♂	19.8	16.2	3.6	39.6	2.3
	♀	19.5	17.5	3.9	40.9	4.5
	平均	19.7	16.9	3.8	40.3	3.4
4区	♂	20.0	18.4	3.9	42.3	2.2
	♀	19.1	20.2	4.6	43.9	3.9
	平均	19.6	19.3	4.3	43.1	3.1
5区	♂	19.6	14.4	3.3	37.3	4.5
	♀	20.2	14.6	3.4	38.2	4.6
	平均	19.9	14.5	3.4	37.8	4.6
6区	♂	20.2	13.8	3.5	37.5	2.5
	♀	20.0	15.3	3.5	38.8	4.8
	平均	20.1	14.6	3.5	38.2	3.7
銘柄鶏平均	♂	19.9	15.7	3.6	39.2	2.9
	♀	19.7	16.9	3.9	40.5	4.5
	平均	19.8	16.3	3.7	39.8	3.7

第 59 回 鶏産肉能力経済検定成績

参考 孵化成績

区分	入卵個数	平均卵重 (g)	受精個数	受精率 (%)	対受精卵(%)		発生羽数	発生率(%)	
					中止率	死ごもり率		対入卵	対受精卵
1区	100	60.5	93	93.0	1.0	3.2	89	89.0	95.7
2区	100	69.9	95	95.0	1.0	4.2	90	90.0	94.7
3区	125	62.8	118	94.4	3.3	3.4	110	88.0	93.2
4区	125	62.2	119	95.2	5.0	8.4	103	82.4	86.6
5区	125	63.4	122	97.6	5.7	5.7	108	86.4	88.5
6区	124	63.8	121	97.6	4.1	7.4	107	86.3	88.4
計又は 平均	699	63.8	668	96.0	3.4	5.4	607	87.0	91.2